

平成 18 年 10 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社九州親和ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 荒木 隆繁

子銀行の有価証券評価損に関するお知らせ

九州親和ホールディングス（代表取締役社長 荒木 隆繁）の子会社である親和銀行（取締役頭取 荒木 隆繁）の平成19年3月期 中間期末の有価証券評価損について、下記のとおりお知らせいたします。

親和銀行では「**「その他有価証券(財務諸表等規則第8条第21項に規定するその他有価証券をいう)」**について、金融商品の時価会計基準により、簿価に比べ時価および純資産額が著しく低下した銘柄につき減損処理(有価証券評価損処理)を行っております。

このたび、平成19年3月期 中間期末における有価証券の評価損を算出しました結果、以下のとおりとなりました。

【親和銀行】

(A)平成19年3月期 中間期末の有価証券評価損計上額		2,060百万円
(B)平成18年3月期末の純資産額	(A ÷ B × 100)	99,664百万円 (2.06%)
(C)平成18年3月期の経常利益額	(A ÷ C × 100)	12,236百万円 (16.83%)
(D)平成18年3月期の当期純利益額	(A ÷ D × 100)	5,095百万円 (40.43%)

【ご参考】

(1) 中間決算期末は9月30日であります。

(2) 減損処理の基準は次のとおりであります。

	処理基準
50%以上下落	減損処理
30%以上50%未満下落	回復可能性を勘案して減損処理

(3) 有価証券の評価差額について

上記減損処理後の有価証券の評価差額は20億円の評価益となります。

以上

本件に関するお問い合わせ先
総合企画グループ 帯田
TEL 0956-26-4105